



職場体験学習

7月3～5日の3日間、中学2・3年生は島内の4つの事業所での職場体験学習に取り組みました。本年度も拓水五島事業所様（エビ養殖）、JAごとう様（商店）、松本芳一様（畜産）、マルセイ水産様（漁業）の皆様方が快く引き受けてくださいました。各事業所にはそれぞれ一人ずつ体験活動をお願いしました。



活動内容は、牛舎の清掃や餌やり、商品の陳列やレジ打ち、氷詰めや品書き、エビの選別や真空包装など学校生活ではできない貴重な体験をさせていただきました。いつもならばわからないことや困ったことは気軽に友達に聞くことができますが、この3日間は誰にも頼ることなく、自分の力だけで解決しなければならず、大人と積極的にコミュニケーションを取りながら業務に取り組みました。命を扱う仕事が多く、購入してくださる方々のことを考えながら大切に丁寧に作業しました。



生徒達にとって自分たちが住む久賀島にはどのような産業があり、どのような生活が営まれ

ているのか興味深く、地域の方々と一緒に活動することを楽しみにしていました。学校としま親宅の往復が主になっている毎日に新しい発見と出会いがあり、充実した3日間を過ごすことができました。そして、豊かな自然や歴史、そこに住む人々の優しさなど久賀島の「宝」を数多く発見し、更に愛着が深まりました。人々との触れ合いを通して、久賀島のことを知り、島民の一人として自分にできることを見つけて実行できる子どもに育ってほしいと思います。感染症拡大が心配される中で快く子ども達を受け入れていただいた事業所の皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



本格的に太鼓練習が始まりました

久賀小中学校伝統の太鼓演奏の練習が本格的に開始されました。今年度は毎週火曜日に来校される崎山中学校川端先生によるご指導のもと、基本的な動作から始めました。1・3年生は初めての経験でしたが、覚えるのが早く、すぐに演奏できました。しかし、ここから全校生徒で揃えるのが大変です。忘れないように夏休み中も帰省先での自主練に励み、運動会でご披露いたします。



命の授業（がん教育）

7月1日（金）奈留小中学校で開催された命の授業「がん教育」に本校もオンラインで参加しました。いのちの大切さについて前長崎大学病院 岡田雅彦先生に小学生にもわかるようにお話ししていただきました。「がん」のメカニズムや早期発見・治療の重要性、病気と闘う大学病院での子ども達の様子など日頃から命と向き合う医師だからこそ伝わる思いが言葉の一つひとつに感じられました。講義後の感想からは、自分や大切な人の命について考える機会となり、

家族にも定期検診をすすめたいと健康管理の思いが高まりました。



青少年劇場（演劇鑑賞）

6月29日（水）福江文化会館にて青少年劇場が開催されました。今回は劇団たんぼぼによる児童劇「100万回生きたねこ」を鑑賞しました。本格的な演劇を見る機会は少なく、貴重な機会に子ども達は朝からワクワクし、会場でも集中して鑑賞することができました。小学生にとっては思い出に残る体験ができました。



俳句活動（長崎新聞掲載作品）

レッツ575（6/25掲載）

久賀での 道案内は ホタルかな
5年 三上覚

ジュニア俳壇（6/27掲載）

<秀逸>
扇風機 こっち向いと 告る我
3年 小池優芽

<佳作>
日の光 照らし見守る 教会堂
1年 重森幹仁

優芽さんが今年度初めての秀逸に選句されました。「告る（こくる）」はインターネットの辞書に載っているので使用可との評価でした【本来はつげる】。どんどん腕が上がっています。次回の発表が楽しみです。

8月の行事

8/9 県民祈りの日

10 学校閉庁日（～16）

9月の行事

9/1 始業式

2 実力テスト【中】

6 かたらんねタイム（教育相談）

11 市民体育大会【中 卓球】

13 運動会予行練習

16 運動会会場設営

18 久賀島ふれあい運動会
家庭の日（ノ一部活動デー）

19 敬老の日<祝日>

22 振替休業日

23 秋分の日<祝日>

28 奈留小中との交流学习

久賀小中学校のホームページ

<http://hisakashochu.tn.goto-tv.ne.jp/>

